



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月11日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL <https://www.fantasy.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 徳也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理統括兼 (氏名) 井関 義徳 (TEL) 043 (212) 6203
 リスクマネジメント担当
 四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	40,840	16.4	2,024	582.3	2,441	83.4	1,181	—
2023年2月期第2四半期	35,079	24.4	296	—	1,331	—	△316	—
(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期	928百万円(—%)		2023年2月期第2四半期		△521百万円(—%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	59.75	59.71
2023年2月期第2四半期	△16.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	51,588	8,981	17.0
2023年2月期	46,917	8,138	16.9
(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期	8,755百万円		2023年2月期 7,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年2月期	—	5.00			
2024年2月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,200	18.6	4,000	371.0	2,700	104.8	600	—	30.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期2Q	19,770,725株	2023年2月期	19,768,825株
2024年2月期2Q	2,052株	2023年2月期	1,919株
2024年2月期2Q	19,767,276株	2023年2月期2Q	19,767,012株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「こどもたちの夢を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というパーパスを掲げ、企業価値向上の実現と持続可能な社会への貢献に向け、事業活動を推進しております。

当第2四半期連結累計期間(2023年3月1日~2023年8月31日)における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高が408億40百万円(前年同期比16.4%増)、営業利益は20億24百万円(前年同期比582.3%増)、経常利益は24億41百万円(前年同期比83.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億81百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失3億16百万円)となりました。各国為替レートが円安に進み、営業外収益に為替差益を5億76百万円計上しております。

国内事業は、新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行された後では初の夏休みを迎え、外出需要の回復と猛暑による屋内施設への好影響もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は317億92百万円と過去最高となりました。

中国事業は、長期休暇の旅行需要が回復した反動でショッピングセンターの来店客数が減少したことから7月以降の売上が伸び悩み、当第2四半期連結累計期間における売上高は38億9百万円となりました。一方で不採算店舗の閉店や経費削減に取り組んだ結果、営業利益は前年同期より6億13百万円改善いたしました。前第2四半期連結累計期間に店舗休止損失6億86百万円を特別損失に計上したことを含めると、営業利益は実質12億99百万円の改善となりました。

アセアン事業は、当第2四半期連結累計期間の売上高が53億43百万円、営業利益では5ヶ国全てが黒字となり、四半期連結会計期間としては7期連続の営業黒字となりました。

店舗数については、当第2四半期連結累計期間での新規出店109店舗、閉店35店舗となり、2023年8月末時点で国内678店舗、海外440店舗、合計1,118店舗(直営店1,107店舗、F C等11店舗)となりました。

(国内事業)

国内事業は当期、3年ぶりの新規機械投資を再開したメダル部門において、7月に人気機種「ホリアテール」を追加導入すると同時にメダルの増量キャンペーンなどを行った結果、当部門の当第2四半期連結累計期間の売上高前年同期比は126.6%と回復が鮮明になりました。時間制部門では屋内施設へのニーズが回復し、当部門の当第2四半期連結累計期間の売上高前年同期比は136.4%と好調に推移しました。プライズ部門では、お子さま向けのキッズプライズが引き続き好調に推移しており、当部門の当第2四半期連結累計期間の売上高前年同期比は108.9%となりました。

7月21日には当社初のエンターテインメント型グランピング施設「ミューの森」をオープンいたしました。長年当社が培ってきたファミリー向けイベントのノウハウを結集させた謎解きアドベンチャーやソードバトルといったオリジナルのアクティビティが好評です。

カプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」を当第2四半期連結累計期間において新規に49店舗出店し、累計店舗数は195店舗となりました。カプセルトイ部門の第2四半期連結累計期間の売上高前年同期比は123.4%と大幅に伸長しております。

プライズ専門店「PRIZE SPOT PALO」はグループ内外の物件に新規出店を行い、当第2四半期連結累計期間において新規21店舗出店し、累計店舗数は48店舗となりました。

当第2四半期連結累計期間はモーリーファンタジー4店舗、カプセルトイ専門店49店舗、プライズ専門店21店舗、その他新業態等4店舗を新規出店する一方、不採算店舗等9店舗を閉店し、2023年8月末では678店舗となりました。

以上の結果、国内事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高317億92百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益18億63百万円(前年同期比130.6%増)となりました。

(中国事業)

中国事業は、7月以降売上が伸び悩みましたが、不採算店舗の閉店や経費の削減を実施し、営業利益は前年同期から6億13百万円改善いたしました。またROIが高い戦略的小型店の出店を行なった結果、当第2四半期連結累計期間の売上高既存店前年同期比は139.3%となりました。

当第2四半期連結累計期間は、直営9店舗を新規出店する一方、不採算店舗等18店舗を閉店し、2023年8月末の店舗数はFC6店舗を含め186店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高38億9百万円（前年同期比45.7%増）、営業損失5億83百万円（前年同期営業損失11億96百万円）となりました。

（アセアン事業）

アセアン事業は、競合との新規出店競争が激しくなる中、各国で新規出店や既存店対策に取り組みました。アミューズメント業界内やプレイグラウンド業界内で店舗数・売上ともに第1位のマレーシア、フィリピンが引き続き好調に推移し、アセアン事業全体の業績を牽引した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高既存店前年同期比は119.0%となり、第2四半期連結累計期間としては売上高、営業利益ともに昨年に引き続き過去最高となりました。

当第2四半期連結累計期間は、22店舗を新規出店する一方、不採算店舗8店舗を閉店し、2023年8月末の店舗数はFC5店舗を含め254店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高53億43百万円（前年同期比30.8%増）、営業利益7億37百万円（前年同期比7.6%増）（※1）となりました。

（※1）フィリピンでは前第2四半期連結累計期間の営業利益において、コロナ影響による家賃減免効果（約1億円）と、アセアン事業で当第2四半期連結累計期間に前期には発生していなかった社内ブランドロイヤルティ（約1億円）が発生しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、140億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億59百万円増加いたしました。主な内訳は、売上預け金の増加（12億48百万円）、現金及び預金の増加（8億65百万円）、棚卸資産の増加（5億22百万円）であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、375億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億11百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化に伴う遊戯機械の増加（10億17百万円）及び建物の増加（5億95百万円）であります。

この結果、総資産は515億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億70百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、370億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億13百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加（30億61百万円）、設備関係支払手形の増加（9億51百万円）、買掛金の増加（8億11百万円）であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、55億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億86百万円減少いたしました。主な内訳は、連結子会社における長期借入金の減少（5億39百万円）、長期割賦未払金の減少（2億85百万円）であります。

この結果、負債合計は426億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億27百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、89億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億43百万円増加いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上（11億81百万円）、為替の変動に伴う為替換算調整勘定の減少（2億85百万円）であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月12日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,081,975	6,947,764
売掛金	248,227	250,196
売上預け金	734,050	1,982,126
棚卸資産	2,156,417	2,678,417
その他	1,621,847	2,143,252
流動資産合計	10,842,517	14,001,757
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,902,698	5,498,370
遊戯機械（純額）	16,202,773	17,220,726
使用権資産（純額）	3,519,085	3,570,651
その他（純額）	1,970,684	1,970,720
有形固定資産合計	26,595,241	28,260,469
無形固定資産		
のれん	135,035	128,935
ソフトウェア	1,299,155	1,372,643
その他	4,685	4,735
無形固定資産合計	1,438,876	1,506,313
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,601,768	4,602,684
その他	3,438,903	3,216,867
投資その他の資産合計	8,040,671	7,819,552
固定資産合計	36,074,789	37,586,335
資産合計	46,917,307	51,588,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,432,864	2,244,686
短期借入金	19,542,050	22,603,650
1年内返済予定の長期借入金	1,307,274	1,245,266
1年内返済予定の長期割賦未払金	566,324	569,656
リース債務	2,018,731	1,947,720
未払費用	1,690,766	2,088,736
未払法人税等	658,746	760,703
賞与引当金	495,106	398,539
役員業績報酬引当金	32,128	37,285
閉店損失引当金	190,757	158,859
設備関係支払手形	1,478,985	2,430,643
その他	2,940,795	2,582,665
流動負債合計	32,354,531	37,068,414
固定負債		
長期借入金	1,025,655	485,714
長期割賦未払金	1,641,144	1,355,481
リース債務	2,504,862	2,392,560
退職給付に係る負債	115,567	109,298
資産除去債務	941,623	1,017,453
その他	195,569	177,373
固定負債合計	6,424,423	5,537,880
負債合計	38,778,955	42,606,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,806,987	1,809,786
資本剰余金	4,825,630	4,828,429
利益剰余金	1,902,889	2,985,146
自己株式	△4,176	△4,635
株主資本合計	8,531,331	9,618,726
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△568,301	△853,619
退職給付に係る調整累計額	△17,204	△9,244
その他の包括利益累計額合計	△585,506	△862,863
新株予約権	31,437	40,017
非支配株主持分	161,089	185,917
純資産合計	8,138,352	8,981,797
負債純資産合計	46,917,307	51,588,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	35,079,745	40,840,898
売上原価	31,835,914	35,559,081
売上総利益	3,243,831	5,281,817
販売費及び一般管理費	2,947,152	3,257,713
営業利益	296,678	2,024,103
営業外収益		
受取利息	32,158	34,383
為替差益	1,258,963	576,824
受取保険金	21,988	19,464
固定資産売却益	144	418
預り金受入益	4,256	845
リース解約益	17,791	40,605
増値税還付金	14,097	25,519
その他	27,734	24,889
営業外収益合計	1,377,135	722,950
営業外費用		
支払利息	306,937	262,834
固定資産売却損	10,407	9,309
その他	25,214	33,151
営業外費用合計	342,560	305,295
経常利益	1,331,254	2,441,757
特別利益		
雇用調整助成金	31,901	—
減損損失戻入益	—	21,213
特別利益合計	31,901	21,213
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	12,996	15,143
減損損失	79,342	233,249
店舗閉鎖損失	8,302	35,879
店舗休止損失	715,035	—
災害による損失	15,039	—
特別損失合計	830,716	284,272
税金等調整前四半期純利益	532,439	2,178,698
法人税、住民税及び事業税	461,469	568,005
法人税等調整額	323,836	416,521
法人税等合計	785,306	984,527
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△252,866	1,194,171
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,376	13,080
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△316,242	1,181,091

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△252,866	1,194,171
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△278,319	△273,570
退職給付に係る調整額	9,941	7,960
その他の包括利益合計	△268,378	△265,609
四半期包括利益	△521,245	928,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△594,355	903,733
非支配株主に係る四半期包括利益	73,110	24,828

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	532,439	2,178,698
減価償却費	5,073,925	4,902,287
固定資産除売却損益(△は益)	31,051	25,126
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,969	△102,683
受取利息	△32,158	△34,383
支払利息	306,937	262,834
為替差損益(△は益)	△1,258,963	△576,824
受取保険金	△21,988	△19,464
リース解約益	△17,791	△40,605
雇用調整助成金	△31,901	—
減損損失戻入益	—	△21,213
減損損失	79,342	233,249
災害による損失	15,039	—
売上債権の増減額(△は増加)	△44,912	△767
売上預け金の増減額(△は増加)	△1,286,794	△1,245,046
棚卸資産の増減額(△は増加)	△271,262	△496,511
仕入債務の増減額(△は減少)	800,032	802,262
その他	△963,590	△864,292
小計	2,945,373	5,002,665
利息の受取額	11,441	15,209
利息の支払額	△313,539	△266,499
雇用調整助成金の受取額	31,901	—
法人税等の支払額	△116,014	△322,370
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,559,162	4,429,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,074,805	△4,244,040
有形固定資産の売却による収入	10,477	13,469
無形固定資産の取得による支出	△274,136	△294,132
長期前払費用の増加による支出	△26,139	△212,587
敷金及び保証金の差入による支出	△185,469	△323,072
敷金及び保証金の回収による収入	99,660	135,612
その他	△48,211	△51,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,498,623	△4,976,158
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,947,644	3,590,226
長期借入金の返済による支出	△1,126,087	△655,504
配当金の支払額	△98,835	△98,834
リース債務の返済による支出	△960,846	△1,246,281
割賦債務の返済による支出	△279,038	△282,331
その他	△305	△459
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,482,531	1,306,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	324,764	104,327
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,867,834	863,988
現金及び現金同等物の期首残高	5,986,843	6,058,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,854,678	6,922,615

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：固定資産の減損)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り：固定資産の減損)に記載した中国の仮定について重要な変更はございません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,381,762	2,613,976	4,084,006	35,079,745	—	35,079,745
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,222	—	—	1,222	△1,222	—
計	28,382,984	2,613,976	4,084,006	35,080,967	△1,222	35,079,745
セグメント利益又は損失(△)	808,099	△1,196,631	685,232	296,699	△21	296,678

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「国内」セグメント9,666千円、「中国」セグメント52,424千円、「アセアン」セグメント17,250千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,687,429	3,809,662	5,343,806	40,840,898	—	40,840,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	105,215	—	—	105,215	△105,215	—
計	31,792,644	3,809,662	5,343,806	40,946,113	△105,215	40,840,898
セグメント利益又は損失(△)	1,863,442	△583,578	737,488	2,017,352	6,750	2,024,103

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「国内」セグメント1,349千円、「中国」セグメント211,125千円、「アセアン」セグメント20,774千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。